

# 人文学会報

85号  
2022. 3. 18

事務局

〒890-0005 鹿児島市下伊敷一丁目52番1号  
鹿児島県立短期大学 文学科 日文学料室

鹿児島県立短期大学

人文学会

電話〇九九)三〇一―二二一

〈研究室だより〉

今号は、今年度で退職される望月正道先生への各教員のメッセージを寄せ書きにしました。

## 望月正道先生のご退職によせて



木戸 裕子

日本語日本文学専攻の望月先生が本年三月末を以て定年退職なさいます。とてもそんなお年には見えないのですが、望月先生は一九八八（昭和六三）年に鹿児島県立短期大学に着任され、以来三十四年間にわたって在職されました。

私はその五年後に県短にきましたが、望月先生は県短での先輩というだけでなく、大学院での先輩でもあったので何

かと心強かったのを覚えています。

県立短大は一九九五（平成七）年に改組し、第一部は今の文学科・生活科学科・商経学科の三学科六専攻体制になりましたが、望月先生はその時に若手教員としてワーキンググループに参加されました。それ以後、入試委員会や教務委員会など県立短大の教育に関わる重要な委員会で委員長を歴任されました。学内のいろいろな規則や制度について、また、情報システムについて、文学科では望月先生に頼ることが多かったと思います。

授業では、最近日本語と韓国語の比較研究、大正時代の口語の聞き取りなどを通して、学生が日本語についての視野を広げることが心掛けておられました。

以前は、日文専攻ではゼミ旅行と称して学生といろいろなところに旅行していましたが、望月先生は方言調査を兼ねて

ゼミの学生を連れて与論島に行っておられました。聞くところによると、飛行機が苦手でフェリーで二十四時間かけて行かれていたとか。最近ゼミ旅行する時間の余裕もなく、まして一昨年からのコロナ禍では会食すら自粛しなくてはならなくなり、かつてののんびりした県短が懐かしくもあります。

また、県短生協では長年理事長や専務理事を務められました。学内で望月先生を探すときには、生協店舗に行ってみるといらつしやることしばしばでした。

望月先生のご退職されると、日文では私が最古参となって心細いことこの上ないのですが、ご定年はしかたありません。これまでのご活動に感謝するとともに今後のご健勝をお祈りいたします。

（文学科日本語日本文学専攻 教授）

土肥 克己

望月先生が退職となり、本当に感慨深いものがある。思えば最初に出会ったのはわたしが本学に採用されるとき面接だった。当日は春の暖かい日差しのもとヒナゲシが風に揺れ、南国の空気を実感したものだ。面接を終えたあとのすがすがしい気持ちをもよく覚えていた。望月先生の思い出で書きたいことはまだまだあるのだが、これからというところでもう字数に達してしまった。同僚として十五年、実に感慨深いものがある。

(文学科日本語日本文学専攻 教授)

楊 虹

ご退職おめでとうございます。振り返ってみれば、県短からの第一声は、

望月先生からの面接コールでした。あれ

から十一年。先生はいつも穏やかで感情的になつていくところをみたことがありませんでした。議論が白熱した時でも、大声を出したり、きつい言葉を投げかけたり、はたまたやんわりと皮肉なことを言ったりするのを見たことはありませんでした。日本語がご専門の先生だけに、言葉で人を傷つけまいというお心がけでしょうか。それともお人柄の良さから自然にそうされたのでしょうか。ともあれ十一年間同僚としてご一緒させていただけたこと、感謝いたします。ありがとうございます。

(文学科日本語日本文学専攻 教授)

竹本 寛秋

ご退職おめでとうございます。表現・表記に対する望月先生の態度の厳格さには、自分の適当さを省みるよい機会を

幾度も与えていただきました。『人文学

会報』84号の「観光案内板」に関する記事からも、先生が常日頃、身の回りを含めた言語に対して、細やかな視線を注いでいることがわかります。仕事の上でも、急な担当変更をカバーしていただくことなども多く、いつも助けられました。来年度以降も、たまには生協などに出発してくださることを、密やかに期待しています。

(文学科日本語日本文学専攻 准教授)

轟 義昭

先生とは、一九八八(昭和六三)年、本学への着任が一緒でした。寺脇学長から辞令を頂いて、あれからもう三十四年も経つのですね。先生は当初から教授会で積極的に発言され、商経科(現商経学科)のおえら方(教授陣)と対等に振る舞われていました。ぺいぺいの私は教授会での

やり取りを黙って聞くのが精一杯だったので、先生の言動に驚かされ、今でも記憶の片隅に留まっています。また、先生は助教教授（現准教授）でありながら教務委員長になって行政手腕を発揮されたことを覚えています。長い教員生活、お疲れ様でした。

（文学科英語英文学専攻 教授）

遠峯 伸一郎

専攻が違い、委員会でご一緒することがなく、直接の接点はあまりありませんでしたが、学科では大変お世話になりましたが、県短での経験が短い私が学科長を務めた時は、いろいろとご教示いただきました。本当にありがとうございます。先生のご多幸とご健康を心よりお祈り申し上げます。

（文学科英語英文学専攻 教授）

石井 英里子

望月先生、ご退職おめでとうございます。教務委員会では四年間、そして生協理事会では私の着任以来七年間大変お世話になりました。望月先生にお教え

いただいたこと、お世話になったことをはじめ、色々思い出されます。学生のための教育とは何か、大学のサービスはどうかあるべきか、それから日本語の正しい文章、たくさんのことを教えていただきましたが、まだまだたくさん教えていただきました。ありがとうございました。それから本当にお疲れ様でした。これからもご家族のために健康第一で楽しく、お体ご自愛して下さいね。모쪼 또 만나요！（モッチー ットマンナヨー！）

（文学科英語英文学専攻 准教授）

小林 朋子

望月先生とは七年間、同僚として一緒にさせて頂き、様々な場面でご助言や労いの言葉をかけて頂きました。ありがとうございます。そこにえられるだけで、その場の空気が少し柔らかくなるような、そのような雰囲気を見望月先生は持つていらつしゃいました。着任当初、ガチガチに緊張していた私にとって、先生のその穏やかな存在はとてつもないものでした。日文資料室にある辞書についての何気ない会話から、先生の豊富な知識を垣間見せて頂いたこともありました。来年度から会議の席でお目にかかれなくとも寂しいかぎりですが、これからも末永くお元気で過ごされることをお祈りしております。

（文学科英語英文学専攻 准教授）

あれこれ

望月先生ご退職おめでとうございます。

私は、本学着任してから三年しか経っていないので、望月先生のことを深く知ることはできませんでした。望月先生はいつも温かい笑顔を浮かべているので、学科会議の静けさとバランスのとれた雰囲気醸し出しています。望月先生からの最初の質問を覚えています。「あなたの好きな漢字はなんですか」と。その質問は望月先生の素晴らしい性格と日本語学への愛情を示しています。そんな素晴らしい望月先生がご退職されてしまいます。もう少し一緒にできたらなあと思ってしまうました。望月先生、ありがとうございました。

(文学科英語英文学専攻 講師)

先生とはずいぶん長きに渡り一緒に

お仕事させて頂き(文学科で一番長く!)、色々な場面で大変お世話になりました。いつも驚きだったのは先生の博識ぶりでした。情報量の多さにもたびたびびっくり! 本学も人文学会もこの三十数年の間にとっても変貌していったように感じますが、その中でも変わらないのは先生のお人柄だったと。誰に対しても温厚に接するお姿に自己反省の私です。次々と長年馴染みのあった先生方がご退職されていくのは寂しい限りです。望月先生いつまでもお元気で!

(文学科英語英文学専攻 助教)

望月 正道

定年退職にあたり、昔のことでも書こう

かと思いましたが、定期試験の採点(さつき入力完了しました)やら、部屋の片付け(全然終わらない)やらで、心に余裕がないせいか良い思い出が思い浮かびません。

そこで、最近の話題をいくつか。

まず、前回の「近況」で書いた高麗橋そばの観光案内板の外国語表示ですが、ちゃんと修正されていました。朗報なのですが、ネタが一つ減ってしまっただけ残念な気もします。

それから、今年はずいぶん遠隔授業だったので予習をちゃんとやったおかげで、授業で説明していた「いづろ」の音変化が間違っているのが判明しました。なぜか(手抜きです、確認を怠りました)「燈籠」の字音を「とうらう」だと思い込んで、





オ列長音の開合で説明してしまいました  
が、正しくは「とうろう」です。従っ  
て、規則的に変化していれば「いづろ」  
ではなく「いづる」にならないとおかし  
い。今年の授業ではここまで説明して、  
変ですなえで先に進んでしまいました  
が、卒業生の方たちには間違って教えていま  
した。申し訳ありません。そう言えば、  
鹿児島県内には灯籠の名称に「つろ」と

「つる」の両方があると、以前黎明館の  
展示で見た記憶がありました。そこで、  
日本国語大辞典を引くと「燈籠」には  
「とうろ」の語形もあって、宇津保物語  
から用例があり、この語形で鹿児島まで  
やってきたとすれば「つろ」の形で矛盾  
無く説明できそうです。

そしてもう一つ、最近ハマっているの  
が「魔法びん」の名称問題です。「いづ  
ろ」はもともと教科書には出てこない脱  
線の問題でしたが、こちらは今年使った  
線の話題でしたが、こちらは今年使った  
いた教科書に「商品名などの固有名詞が  
その種の商品の総称となって通用する例  
（「魔法瓶」「シャープペンシル」「セロ

テープ」など）」とあったのが気になり  
ました。英語の「Thermos」の話はすぐに見  
つけたのですが、「魔法瓶」については  
全国魔法瓶工業組合サイトの「まほうびん  
の歴史」を見ても釈然としません。商標  
についてはウィキペディアに出ているも  
のの典拠不明。そこで授業では、「魔法  
瓶は例として適切ではないかもしれな  
い」旨補足しました。

そうしているところに、国会図書館  
「次世代デジタルライブラリー」の全文  
検索対象拡大というニュースが流れてきた  
ので、早速「八木亭二郎」で試してみ  
ると、神戸高等商業学校一覧の卒業生名簿  
に名前がありました。そこで、今度は  
グーグル検索でac.jpに絞って「八木亭二  
郎」を検索すると神戸大学図書館サイト  
にある学友会報のPDFに訃報があるの  
がわかりました。そこから前後の号を探  
していくと、就職先、一年志願兵役、  
「八木保温鑊製作所」開店と「八木魔法器  
製作所」への移転改称、没後の事業継承  
などの記事がありました。最初ギン兄弟

商会に勤めていて、兵役から戻って間も  
なくそこが破綻、それから日本電球に入社  
したとすると独立までの期間は十五か月  
くらいしかありません。「日本電球に  
勤めていた」と言うのと技師か職工さんを  
想像したのですが、前職も外人商館で、  
日本電球でも事務職だったはずです。  
なぜ事務屋さん魔法瓶国産化に手を  
出したのか、このへんの事情がますますく  
気になっています。

商標や実用新案は、登録番号がわかれば  
「特許情報プラットフォーム」というサイ  
トで検索できるのですね（最近のものは  
名称等でも探せます）。八木亭二郎さん  
は「魔法びん」ではなく「サーモス」で  
実用新案をとっており、商標は朝日印の  
画像商標でした。ウィキペディアの「日本  
電球が国産品第1号を開発し、同社が  
商標登録した魔法瓶という名称が」と  
いう記述はかなり怪しい気がします。

この件は何か分かるたびにツイッターに  
本名で書き込んでいます。  
ツイッターは現時点ではログイン無し

で（ただし、例えば県短生協のページ [https://twitter.com/kpc\\_coop](https://twitter.com/kpc_coop) をブラウザにブックマークしておくとか、グーグル検索やYahoo!リアルタイム検索から飛んでくるかする必要がありますが）、閲覧や検索ができますので、興味があれば検索してみてください。では。

（文学科日本語日本文学専攻 准教授）

## 〈学外通信〉

### 子どもはすごい



福留 冴子



つながりにくい日々の授業を通して感じているからです。

タイトルの言葉は、初任のときに尊敬する先生からいただいた言葉です。子どもとの関わりに迷ったとき、授業がうまくいかないときなど、折に触れてこの言葉を思い出すようにしています。

「子どもはすごい」という言葉の本質は「子どもをなめるな」ということだと思っています。自分よりいくつも年下の子どもたち。しかしその持っている能力や見る目を侮ってはいけません。実際に子どもたちの輪に入っているいろいろな話を聞いてみると、授業に対する考えや先生方の性格分析など、あながち間違っていないな、と驚かされることばかりです。

多感な時期の中学生と過ごす学校生活は、とても面白く変化の多い毎日です。一人ひとり違う個性を持つ子どもたちと関わり合うことで私自身が得られるものも多くあります。私が授業の中で何より大切にしていることは「楽しい授業をする」ことです。入念な授業研究をすることはもちろんですが、子どもたちが楽しむ以前に自分が楽しいと思えることが一番です。なぜなら、自分が楽しいと思えない授業は子どもたちも楽しめず、理解に

また、思春期特有の悩みを抱えた子どもたちが助言を求めてきたとき、耳触りのいい言葉でも自分の気持ちが入っていない言葉は伝わらないこと、たとえ拙い言葉であっても一生懸命考えて自分の中から出てきたものであれば伝わること学びました。子どもたちは大人が考えている



以上に私たちのことをよく見ていて、自分のことをどれだけ思ってくれているのかを判別する力があるのです。

さて、望月先生がご退職されるということ、久しぶりに県短時代、そして望月先生のことを思い返してみました。県短での思い出は「楽しかった」の一言に尽きます。そのときには気づかなかったのですが、これまでもこれからもあの二年間より色濃く充実した期間はなかなか見つけられないと思います。毎日の講義、顔を合わせる友人たち、初めてのバイト生活。そのどれもが新鮮でかけがえないものでした。そして、県短時代に培ったものが今の私につながっていることを実感しています。

当時の私は「社会をなめていた」ので（K先生談、恥ずかしながら自覚あり…）注意を受けることも多かったのですが、何度思い返してみても望月先生はいつも柔らかな表情であったことを覚えています。もちろん望月先生に注意を受けることもあったはずなのに。講義をするときも

注意をするときもフラットな表情や口調で論ずようにお話してくださっていたことがとても印象的です。

今まで自分が関わった子どもたちが将来私を思い返すときに浮かべる表情はどんな表情でしょう。笑った顔、怒った顔、喜んだ顔…。大学の先生とは相手にしている対象が違うとはいえ、圧倒的によくない表情のほうが多いように思います。

これからも私の教員生活は続いています。きつとたくさんの子どもたちと関わる機会をいただけることでしょう。望月先生のように、どんなときでも温かい表情で生徒たちに寄り添える教員でありたいです。

最後になりましたが、望月先生の今後のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。  
（二〇一〇年三月 日本語日本文学専攻 卒業 旧姓白男川）

## 貴重な時間をくれた

## 短大生活

白石 さくら

この春定年退職を迎えるゼミ担当の望月正道先生から連絡を頂き、約十年前になる私の短大生活を思い出す機会を頂きました。

私は昔から、国語や歴史の授業が好きでした。高校で進路を決める際、県短の日文専攻で学びたいという一心で推薦枠を頂き、有り難いことに入学することができました。私が入学した年の日文専攻は定員三十名に対して入学者が五十名もいたので、最初は一人一人の顔と名前を一致させるのに必死でしたが、やがて笑顔で挨拶を交わし談笑できる仲間と出会うことができました。文化祭で、五十名で四種類のダンスを学生会館や公園で外が暗くなるまで練習したことは今でも懐かしい思い出です。

短大の授業は、高校までの黒板とノートにひたすら向き合って「問題を解く」姿勢ではなく、一つの事柄を掘り下げて考え、時には正解のない問いを自分なりの考えと周りの人たちとの考えを「共有する」姿勢で学ぶとても新鮮なものでした。同時に私が入学当時に抱いていた日文専攻の魅力はさらに想像を超えるもので、九十分授業もあつという間に感じられました。歌詞や漫画の主人公の台詞からみる日本語（例えば一人称や比喩等）の時代変移やその使われ方を学ぶ授業では、普段何気なく知っていた作品から、その時代背景を知ったり、無意識に先入観を持った使い方をしていた日本語に気づいたり、言葉の持つ面白さを学びました。

短大生活にだいたい慣れてきた一年生の冬に就活を始めました。このとき、私たちは「就職氷河期」と言われる時代に直面していました。周りも私自身も企業説明会に必死で参加し、学生課の方々に御指導いただきながら面接練習や履歴書作成

に取り組む日々が始まりました。実際に「働く」という漠然とした未来だけが見えていて、早く内定をもらわなければという焦りが強かったのを覚えています。そんな中、就職先の決め手となった出来事がありました。私は当時喫茶店のホールスタッフとして初めてのアルバイトをしていました。最初は席の案内、注文、配膳、片付けまでの一連の作業すらぎこちなく、お客様とのやりとりもこまめにメモしなければ緊張で頭が真っ白になり忘れてしまうくらいでしたが、場数を踏んでいくことで身体が覚えていき、厨房の様子やお客側の様子を意識し、お客様との会話も楽しむことができるようになりました。このとき「人と触れ合う仕事」に携わりたいという気持ちが強くなりました。ちょうどその頃、就職した先輩の講話を聞く機会がありました。「接客業」の大変さと楽しさを語ってくださる内容が、自身のアルバイト経験と重なり、自分の経験が活かせる職場なのではないかと、面接と試験を受けてみようと思えました。

学生課の面接指導、履歴書添削のおかげもあり、二年生の夏に内定を頂くことができました。気がつけば短大生活も残り半年となっていて、卒論に集中する一方で、授業の残り回数も少しずつ減っていき、少し寂しい気もしました。

卒論では、オノマトペの多い絵本に注目し、対象月齢や時代、作家別で調べてみようと思い組みました。図書館に通い、何十冊かの絵本からオノマトペを抽出し、関連する論文も読みました。自分の考えをまとめるのに煮詰まったりしましたが、添削を頂きながら、完成した時は達成感がありました。

無事に卒業し、入社した菓子店は、新入社員教育が徹底されていて、身なりや礼儀、所作、お菓子やそれに関する行事の勉強などで、毎日がへとへとでした。しかし、「人と触れ合う仕事」はやはり向いていたのか、やりがいを感じる場面も多く、お客様からの「ありがとう」という言葉が、失敗して落ち込む日々もまた頑張ろうと思わせてくれました。

やがて自分自身が後輩教育に携わり、そして店舗責任者として働くこともでき、七年間の充実した時間を勤めさせていただくことができました。

「学生」と「社会人」では大きな違いがあり、そのギャップに戸惑うこともありましたが。しかし、今思うことは、短大時代に自分の好きな勉強や好きなことが時間いっぱいに来たからこそ、社会人になっても頑張れたのだと思います。現在、結婚して、娘にも恵まれました。駆け抜けてきた十年を思い出しながら、また改めて日々の生活を楽しく頑張ろうと思えたところです。

(二〇一三年三月 日本語日本文学専攻卒業)

## 心が踊る方へ進もう

笹山 梨紗

私が県短を卒業してから五年が経とうとしていきます。英語教師をしていた母の影響から将来は英語教師になりたいと思っていたところ、県短では中学の英語教諭の免許を二年間で取得できることを知り、進学を決めました。

県短入学当初、英語と同じくらい夢中になっていたのが韓国語です。一年生の前期中に、私の周りの英語日本文学専攻の友達がアメリカやフィリピンに短期留学する夏休みの予定を立て始める中、私は「大好きな韓国に行ってみたいな！」という軽い気持ちで、夏休みに韓国語留学することを決めました。

語学留学する前の私の韓国語のレベルは日常会話程度でした。初めて韓国に行くまでは、私は韓国語を独りで勉強していたため、世界中から語学学校に来た友達

と「韓国語」という共通語だけで会話する楽しさや、ドラマで見ていた韓国でのリアルな生活に魅了され、次は「将来は韓国に住んで働きたい！」という夢を見つけることができました。

夢への近道は、私の強みである「日本語」を活かす職業に就くこと、そうすれば、韓国にずっと住むことができるだろうと当時の私は考え、日本語教師を目指し、県短を卒業したら、日本語教育で韓国で一番有名な韓国外国語大学日本語文化学部への編入しよう！と決意したのもちょうどこの頃だと思います。

ところが、いざ韓国外国語大学への編入を決めたものの、県短の卒業生で韓国外国語大学に進学したことがある先輩もいらつしやらず、大学間の交流もなく、準備はゼロからのスタートでした。まずは韓国外国語大学に直接メールで問い合わせたり、募集要項を取り寄せたりしました。ゼミの先生にアドバイスをいただきました。ら、志願書や修学計画書(志望動機や、学習目標を記述したもの)を作成し、無事





韓国外国語大学日本語文化学部に編入学することができました。準備をスタートしてから、なんと十一月もかかりました。

編入学後の勉強は私が想像していたものとは全く違いました。「日本人だから日本語は余裕！」と思っていたのですが、入学してみると、教材、授業、レポート、試験も全て韓国語。初日から頭が真っ白になりました。しかし、この逆境が私に火をつけました。「絶対トップの成績で卒業してやる！」と心に決め、そこから卒業するまでの2年間、授業の予習、復習は欠かしませんでした。友達と遊びに行く時でさえ、わからない単語があればすぐにメモできるよう、常にメモ帳を持ち歩いたくらいです(笑)。留学中、一度も心が折れることなく、このモチベーションを保つことができ、返済不要の奨学金も2年間授与されました。そして入学当初からの目標「トップの成績で卒業すること」ができたのです。さあ、これで夢に見た韓国で働く生活まであと一歩です。

ところが、就職活動の時期にコロナ禍になりました。「韓国で暮らしたい！」という一心だけでここまでやってきた私ですが、卒業後は、まずはコロナが落ち着くまで日本で仕事をしながら営業に關するスキルを身につけようと思いつき、帰国しました。

最初に入社した会社は、外国人専門の人材紹介会社です。入社後は毎月のノルマ達成のために、一日百二十件のテレアポやイベント参加、飛び込み営業を一年半続けました。お客様に怒鳴られたり、資料を投げつけられることも日常茶飯で、正直なところ、私の人生の中で一番苦しかったと言っても過言ではありません。ただ、人材不足で困っている企業と、「日本で就職をしたい！」という夢を持った外国の方を繋げる仕事にとってもやりがいを感じていました。

この仕事も軌道に乗ってきたころでしたが、コロナの影響で入国ができない方が多くなってきているという問題は私達に取って大きな壁でした。そこで、これ

までの営業の経験を生かして、コロナの影響を受けない職への転職活動を決意しました。さらに、今度は、自分の強みである「韓国語」をもっと生かせる職場を探し、今年から韓国の最大のメガバンクである「ハナ銀行東京支店」で唯一の日本人行員として働いています。

県短一年生の頃には、まさか数年後に韓国の会社で働いていることは一ミリも想像していなかったですし、自分でもとても不思議に思います。今まで多くの方に「なぜ英語を勉強していたのに韓国へ留学したの?」「なぜ教員免許を持つているのに先生にならなかったの?」「なぜ韓国の大学を卒業したのに日本で就職したの?」「なぜ韓国語を使わない人材紹介会社に就職したの?」とたくさん聞かれました。

答えは一つです。「心が躍る方向に進んだから」です。「努力すれば願いは叶う」などのきれいなことは言うつもりはありません。ただ、自分の心が躍る方向に進み、目の前にある課題に真摯に取り組んで



いれば、自分の思わぬタイミングでチャンスが巡ってくることもあるのだということをお私はずびました。

県短を通して出会った友達や、卒業後もずっと力になってくださるゼミの先生とも出会い、これまでの全ての県短とのご縁に本当に感謝しています。

最後に嬉しいお知らせがあります。今年の二月からゼミの後輩が、私の母校韓国外国語大学に編入して留学生生活をスタートさせました。この後輩に続いて、また一人でも多くの後輩が韓国に興味を持つてくれるとうれしいです。そして私自身も、自慢の先輩になれるように、一日一日を大切に全力で前に進んでいこうと思います。

(二〇一七年三月 英語英文学専攻卒業  
現職・韓国ハナ銀行東京支社個人営業  
チーム係長)

## 〈卒業にあたって〉

### 夢からスタートラインに 立てた場所

文学科日本語日本文学専攻

竹之内 玲

はいましたがこの二年間でさらに痛感しました。自分の心の中で感じた何かを言葉にして伝えたいけれど、その何かを言語化できない難しさ。このままでは駄目だと頭のなかでは分かっているけれど、自分が発する言葉に自信が持てず、発言することや言葉にできないときが多くあり歯痒かったです。

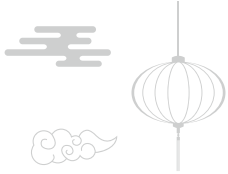
県短に入学して、ただただ自分を変えたいと前だけを見て、自分の気持ちの赴くままに進んだ二年間でした。この二年間、真つすぐには走れなくて、足は絡まり、大きく転んで。だけど、尻もちだけはつかないように、転ぶ時は前に転ぶようにして進んできた日々でした。県短で過ごした二年間のどこを切り取っても、素敵で楽しくも辛くもある思い出たちがたくさん詰まっています。

日文にきて、言葉というものについて考える機会が増え、今までは言葉に難しさだけを感じていましたが面白さも感じる

ことができるようになりました。自分の持っている言葉が少ないことは分かって

県短の授業を通して、普段自分が使っている言葉に深い興味を持つようになり、ただ本を読むだけで終わらせていたのを、言葉のひとつひとつを文学作品それぞれの文脈の中に置きなおし丁寧に読んでいくようになるなど変化していきました。学んで知識を身に付けていくことで自分の持っている世界観が広がっていきのがとても楽しいと感じました。そして、この私を感じた楽しさを国語科教員となって、生徒に伝えていきたいと強く思いました。

この学校で学び、今まで自分が努力してきたことは無駄ではなかったのだという思いを強く感じました。編入試験に



合格した時に、県短に来ていなかったら

この合格を勝ち取るためにここまで頑張っていたなと思えました。県短に来て教員になるという夢が目標に変わり、その目標に向けて、スタートラインに立つための努力を県短でできて心から良かったと思います。自分の選んだ道に自信と誇りを持って、次の進んだ場所です。どれだけ頑張れるか。どんな壁にぶつかっても停止はせず、立ち向かっていきたいです。この学校で学んだ時間は私にとって宝物となりました。編入先でも学び続けることを継続し、自分を成長させていきたいです。

二年間という短い期間の中で、私を成長させてくれた先生方・友達、そしてどんな時でも支えてくれ県短に通わせてくれた家族に本当に感謝しています。誰かにとつての支えとなるような人になれるように精進していきたいと思えます。素敵な時間をありがとうございました。まだまだこれからがスタートなので、自分の目標を絶対に達成するために一生

懸命頑張りたいと思えます。

## 学生生活を振り返って

文学科日本語日本文学専攻

河 轟 みつき

大学生活を振り返って一番思うことは、コロナウイルスの影響を受けながらも、とても充実した日々を送れたな、ということだ。

私たちが入学したのは、2年前のコロナウイルスの感染が広まりつつある時期だった。新たな生活に期待をしながらも、コロナウイルスへの不安もあった。感染症の影響により、オンラインでの授業を取り入れる大学も多くなり、他の大学に通う私の友人も「せっかく大学に入ったのに学内は入れない。友人もできない」と愚痴をこぼしていた。しかし、鹿児島県立短期大学はオンライン授業と対面

授業をバランスよく取り入れ、講義を進めていった。短期大学ならではの人数の少なさと感染対策もあり、感染が爆発的に広がることもなかった。そして、対面授業があったからこそ私は大切な友人たちと出会うことができた。

もちろん、コロナウイルスの影響で、できなくなったことは多い。しかし私はこの鹿児島県立短期大学でたくさんの方々に巡り合えたことがとても嬉しかった。講義でのわからないところを質問したり、教えあったり、制限はあったものの十分に学生生活を謳歌できたように思える。

また、私はずっと「先生」と呼ばれる職に就きたいと考えており、「中学国語教員免許」を取得するべく、教職課程を取っていたが、コロナ禍で様々な制限がありつつも、教育実習にも行くことができ、たくさん学びを得ることができた。教職課程の中で、自分の不甲斐なさに落ち込んでしまったり、時には褒められて喜んだり、自分の精神面も鍛えら

れたように感じる。教職課程を取って  
なければ学べなかったこともたくさん学  
ぶことができた。

私は、四月から社会人になる。就職先  
も決まり、教員ではないものの、保育士  
補助という子供達から「先生」と呼ばれる  
仕事に就くこととなった。県短での教職  
課程や講義で学んだことを活かしてい  
きたい。そして、県短で出会った友人たち  
も大切にしたいと考えている。

最後に、出会い仲よくしてくれた友人、  
そして県短の先生方に心より御礼申し上  
げます。短大生活を糧に、これから社会  
人として社会に貢献できるよう、尽力し  
たいと思います。

二年間本当にありがとうございました。

## 駆け抜けた二年間

文学科英語英文学専攻

丸野 千春

あつという間。私の短大生活はこの一言  
に尽きます。短大での二年間を振り返る  
と、短く濃いものでした。二年前、新型  
コロナウイルス感染者が日本でも確認され  
始め、未知のウイルスに怯えながら入学  
したことを覚えています。高校の卒業式  
は保護者の入場が禁じられ、先生方の辞  
任式は中止になり、短大の入学式もなく  
なりました。お世話になった人たちに晴  
れ姿を見せることができず、やるせない  
気持ちでした。そんな出来事から二年が  
経ち、卒業を迎えようとしている今もお  
我慢を強いられる生活を送っています。  
皆さんは短大での二年間をどう振り返  
でしょうか。

登校初日、私は不安でいっぱいだった  
ことを覚えています。初対面の人だらけ  
ということに加え、マスクはとても厄介  
でした。友人づくりにはいつも以上に苦戦  
しましたが、皆フレンドリーで面白い人  
ばかりでした。友人や先生方のおかげで、  
授業はとても充実していました。先生方  
は様々な工夫をしてくださり、私たち学

生に学びの場を提供し続けてくださいま  
した。高校とは異なり自主性を重んじる  
短大生活では、良くも悪くも自分の好き  
なように行動することが出来ます。私は  
短い学生生活で様々な経験や学びをし  
たいと思い、できる限り多くのことに取  
組みました。その中に、インターシッ  
プがあります。私は一年の夏休みにイン  
ターンシップに参加しました。ここでは  
他大学の学生と鹿児島市の取り組みや  
SDGsについて学びました。有識者から  
話を聞く座学だけではなく、鹿児島市の  
SDGs先進事例である保育所に実際に  
訪問して保育園児に話を聞きました。  
短大に在るだけでは学ぶことができない  
知識や考え方にふれることができ、また  
実際に働く方々の話を聞くこともでき  
たためとても貴重な経験になりましたし、  
これからの人生や仕事に大いに生かせる  
と思います。

私がこの二年間で最も時間を費やした  
ことは、就職活動です。私には中学生のこ  
ろから就きたい仕事があったため、その

職に就くことを目標に一年の七月から就職活動を始めました。想像よりはるかに大変でしたが、目標としていた就職先から内定を頂けたときはとても嬉しかったです。就職活動を進めるうえで、ゼミの

授業がとて役に立ちました。ゼミでは、学生が主体となって話し合い活動を進めていきます。先生はそのサポートに回り、アドバイスをしてくださいます。学生が自主的に考えて発言をし、全体の意見をまとめて発表をすることで自主性が芽生え、どうすれば簡潔に自分の考えを伝えられるか試行錯誤することができるようです。この作業を繰り返し行うことで、自然と話す力や聞く力が身につく、面接の練習にもなります。この経験から、就職活動の面接練習や本試験ではスムーズに相手に自分の考えを伝えることができま

割きたいと思うことも多々ありましたが、今となつては就職活動を早くから始めていてよかつたと思います。四月から社会人になります。短大での学びを生かして楽しみたいと思います。

このような社会情勢の中で、短大生活を無事に終えられることに喜びを感じるとともに、私を支えてくださったすべての方々にお礼を申し上げます。短くとも濃い短大生活を送ることができた私は幸せ者です。本当にありがとうございました。

## 周りの人に頼ること



### それが成長への近道

文学科英語英文学専攻

大工園 萌理

思い返すと私の県短生活は、ずっと周りの人に支えられていたように感じます。ゼミ活動も、自治会活動も、編入試験の対策も私一人では解決できないことだら

けでした。

私が所属した英語教育学研究室では、すべてのゼミ活動を他のゼミ生と協力して行いました。一年次は、異文化コミュニケーションと英語教育の二チームに分かれて英語の文献を読み、互いのチームが知らない内容について体験しながら学ぶワークショップを作りました。二年次は卒業研究の準備が始まり、毎週研究の進み具合や悩み、先行研究や研究方法を共有し、互いにコメントし合うことによつて、意外な視点に気づくことができ、研究を一步先へ進めることができました。

自治会活動では文化部に所属し、文化祭の実行委員長になりました。一年の時コロナで中止になったため全ての準備作業は手探りで、主役の一年生や、舞台関係者、会場関係者、学校関係者など、様々な人たちとの調整は本当に苦労しました。私の連絡不足で皆さんにはいろいろと迷惑をかけてしまいましたが、特に自治会役員一人一人の暖かい支えがあつ

たおかげで、文化祭は大盛況でした。

文化祭に関わった全ての皆さんに感謝申し上げます。

卒業後の進路は編入学を選択しましたが、合格までの道のりは想像していた以上に厳しいものでした。そんな時も周りの人たちが私を助けてくれました。友達と悩みを共有することで心が落ち着いたり、小論文の意見がまとまるのを実感しました。ゼミのメンバーと志望理由書の内容を共有して議論したり、書いたものを確認してもらったり、沢山の助けがあつて納得した書類が完成しました。

私は元々なんでも一人でやろうとする性格ですが、こうやって県短生活を振り返ると、いい意味で人に頼ることができるようになったと感じます。ゼミではチームワークを学び、文化祭と編入学試験では二つの時期が重なって大忙しだったからこそ、一人でやることの限界を知ることができ、その先に一歩進むためには「自分がやる」から「周りに頼つて人と一緒に取り組む」という風に考え方を変

えることの大切さを学びました。

そんな私には今、将来の目標が三つもあります。一つ目は高校の社会科の教師です。丸暗記するのではなく、生徒の探求心をくすぐるような授業ができる世界史の教師になりたいです。二つ目は、五歳から続けているバトントワーリングの指導者です。三つ目は、文化祭で舞台進行に関わったことから素敵な仕事だと感じた舞台製作の仕事です。このように、色々なことに興味があるということに気づくことができたのも、県短で過ごした充実した二年間があつたからでしょう。

四月からは、新しい場所での生活が始まります。どの目標へ向かうにしても、いつも支えてくれる人々に感謝しながら、周りの人を信頼して一緒に取り組むことを恐れずに、色々なことに挑戦していきたいです。

## 彙報

### ◎人文学会行事日程

二〇二〇年

三月十八日 「会報」第83号発行

四月十七日 総会・役員交代

(会長・文学科長) 土肥

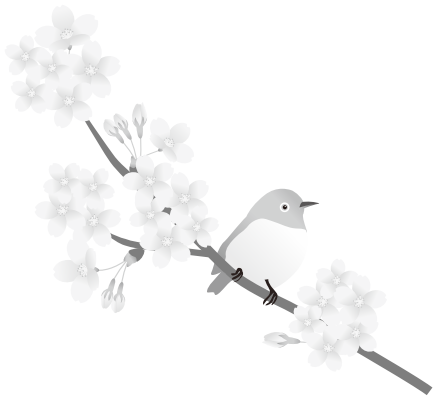
(庶務) 望月

二〇二一年

三月十八日 「会報」第84号発行

四月十六日 総会・役員交代

(庶務) 楊





# ○鹿児島県立短期大学人文学会会則

(一九七七年六月三日制定)

(二〇二〇年四月十七日最終改正)

## 第一章 総則

第一条 本会は鹿児島県立短期大学人文学会と称する。

第二条 本会の事務所を鹿児島県立短期大学文学科日文資料室におく。

第三条 本会は人文諸科学の発展に寄与し、会員の研究振興を図ることを目的とする。

第四条 本会は前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- 1 研究調査・資料の収集
- 2 『人文学会報』の発行(年一回)
- 3 研究会・講演会等の開催
- 4 その他役員会が適当と認めた事業

## 第二章 会員

第五条 本会は次の会員をもって組織する。

- 1 普通会员 鹿児島県立短期大学に所属し、人文諸科学に関心をもつ教員
- 2 学生会員 鹿児島県立短期大学に

所属し、人文諸科学に関心をもつ文学科在学学生

3 特別会員 本会の発展に貢献し、役員会において認められたもの

4 賛助会員 本会の趣旨に賛同し、普通会员と同額以上の会費を納入するもの

第六条 会員として入会しようとする者は、入会申込書を会長に提出し、役員会の承認を得るものとする。

第七条 会員は、総会において別に定める会費を納入しなければならない。

第八条 会員は、退会届を会長に提出し任意に退会することができる。

2 会員が、次の各号のいずれかに該当するときは、退会したものとみなす。

- (1) 本人が死亡したとき。
- (2) 学生会員が卒業したとき。

第九条 本会は普通会员による総会を年度始めに開催する。ただし、必要のある時は臨時的に総会を開催することができる。

第十条 本会に次の役員をおく。役員任期は一年とする。

会長 一名

庶務 一名

会計監査 一名

第十一条 本会は定期的に役員会を開催する。ただし、必要のある時は臨時的に役員会を開催することができる。

## 第四章 会計

第十二条 本会の経費は、事業収入・寄付金および助成金をこれにあてる。

第十三条 会費は役員会での審議を経て、総会の決議により別に定める。

第十四条 本会の会計年度は毎年四月一日に始まり、翌年三月三十一日に終わる。

## 第五章 会則改正

第十五条 本会則の改正は役員会での審議を経て、総会の決議によって行う。

## 附則

1. この会則は、二〇二〇年四月十七日より実施する。

2 学生会員 鹿児島県立短期大学に

## 第三章 役員



## ○会費に関する総会決議

(二〇一五年十一月二十日)

(二〇二〇年四月十七日最終改正)

本会の会費を次のとおり定める。

普通会员 一年二〇〇〇円

学生会員 二年一〇〇〇円

### 《編集後記》

三月末に退職される望月先生から今年度より庶務の業務を引き継ぎ、右往左往しながらなんとか会報発行までたどり着くことができ、ホッとしているところです。長年、お一人で一切の業務を引き受けてこられた望月先生には感謝しかありません。また、ご協力いただいた先生方と卒業生、学生の皆様にもお礼を申し上げます。

『人文学会報』は文学科ホームページ(<http://www.k-kentan.ac.jp/lit/>)に掲載する予定です。『人文』論集の方は、鹿児島県立短期大学リポジトリ

(<https://k-kentan.repo.nii.ac.jp/>)で公開しています。(楊)



## 〈令和3年度卒業研究標題〉

### 文学科日本語日本文学専攻

#### 氏名

#### 卒業研究標題

#### 《土肥ゼミ …… 中国文学》

今道 睦 咲	志怪・伝奇小説における「虎」への変身譚について
草野 早 紀	敦煌変文における降魔変文の位置づけについて
堂脇 優 花	『漢書』五行志における董仲舒、劉向、京房の災異解釈について
西田 夕 舞	白居易における「石」と「鶴」の表現について
福永 真 子	山中遇仙説話における仙界への導入について
船蔵 美 月	鬼才と称した李賀詩の特徴
山之口 詩 織	杜甫の詩における「月」の描かれ方について

#### 《望月ゼミ …… 日本語学》

河 篤 みつき	「ボクっ娘」の役割語とその効果
草野 麻 衣	病院の診察や問診表における「どうですか」という問いについての研究
齋藤 千紗都	案内表示板から分かる日本語の特徴
関山 夏 生	歌詞に使われる四字熟語にはどんなものがあるのか
坪内 裕 介	コロナ禍における新語・流行語について

#### 《楊ゼミ …… 日本語学・日本語教育学》

犬童 愛 奈	YouTubeにおける動画タイトルの違い —コロナ禍前とコロナ禍での比較—
植田 穂	日本語と中国語のあいさつ・感謝・謝罪表現の比較
川元 有 莉	日本語母語話者による日本語の誤用について
木村 萌々香	程度の副詞から見、現代の方言の使用について —大分方言話者と鹿児島方言話者への調査から—
久保 和 也	縮約形の使用実態 —中国で人気の日本マンガに注目して—
戸越 由理奈	韓国ドラマの日本語字幕からみた日本語と韓国語の相違点 —敬語表現、呼称・呼びかけ表現の観点から—
長元 保乃歌	演じるYouTuberたち
若松 なつみ	少年マンガにおける主人公の文末表現 —文末表現と性格の関係—

#### 《竹本ゼミ …… 日本文学・近代》

村場 里 咲	「もののけ姫」の描かれ方について
有田 雪 菜	「口ぶえ」における岡沢と渥美の存在について
大城 桜 子	『君が降る日』から見る生と死の対比描写の秘密
上 蘭 明 莉	金原ひとみ『アンソールディスタンス』—コロナ禍でみえたもの—
坂山 智 晟	『痴人の愛』より、時代を超えて愛される女、ナオミについて
高野 理 央	漫画『ブラック・ジャック』における医療の描かれ方 —「安楽死」を中心として—
竹之内 玲	『走れメロス』が定番教材になっている理由、学べる道徳的価値とは —道徳教育との関わりから考える—
津崎 乃里甫	夢野作品における書簡体形式、独白体形式の共通性と「恋愛」との関係
永井 紗由希	北條民雄『いのちの初夜』・『間木老人』における「導く者」の効果について
中島 眞 子	『コンビニ人間』から読むジェンダーについて
西田 このみ	又吉直樹からみる現代自由律俳句の「共感」について
福田 優 音	「風は西から」より考える日本の労働実態
藤村 雅	『続戦争と一人の女』における女性の死生観について

## 〈令和3年度卒業研究標題〉

文学科日本語日本文学専攻

氏名

卒業研究標題

### 《木戸ゼミ …… 日本文学・古典》

大久保 珠 里	『源氏物語』に登場する「朝顔の姫君」はなぜ光源氏からの求婚を拒んだのか
川 原 優 里	宇治拾遺物語「絵仏師良秀家の焼くるを見て悦ぶ事」の良秀は火事の中家に妻子が残されていることを知っていたのか
楠 生 健 至	『和泉式部日記』における和泉式部の人間関係
田 中 愛 菜	『源氏物語』の衣配りで光源氏が女君に選んだ衣装についての研究
徳 田 萌 絵	『狭衣物語』における女二宮と「冷やかな態度」について
西 美 穂	和歌における「女郎花」のイメージを形成した要因
日当瀬 美 優	『源氏物語』において、なぜ花散里が夕霧・玉鬘の後見に選ばれたのか
広 浜 悠	『虫めづる姫君』における虫めづる姫君の人物像及び『虫めづる姫君』内に登場する虫の物語内における役割について
前 野 瑠 里	『古今和歌六帖』における霧の歌の「霧」はなぜ物や心情を隠す歌が多いのか
柳 田 琳	光源氏との恋愛における夕顔の魅力



## 〈令和3年度卒業研究標題〉

### 文学科英語英文学専攻

氏名	卒業研究標題
<b>《英米文学演習》（指導教員：轟 義昭）</b>	
末吉 紗奈	『名探偵コナン』シリーズのタイトル「緋色の…」に込められた謎の解明
坪井 梨緒奈	原作『不思議の国のアリス』とアダプテーション映画の比較研究
福田 真穂	『鬼滅の刃』の比較研究 — 漫画と映画とアニメ —
丸野 千晴	『君の名は。』の比較研究 — 映画と小説 —
宗像 果歩	原作『嵐が丘』とアダプテーション映画の比較研究
薬丸 杏菜	原作『美女と野獣』とアダプテーション映画の比較研究
和田 絵里香	映画『白雪姫』とアダプテーション映画の比較研究
和田 奈津美	原作『美女と野獣』とアダプテーション映画の比較研究
<b>《英米文学演習》（指導教員：ガルシア・アロヨ ホルヘ）</b>	
大見謝 那椿子	Aesthetic Values and Image of Women
岡本 優帆	Why Disney and Ghibli Films Are Popular
菊永 有花	Ways of Thinking through Godzilla: America and Japan
竹内 冴衣	Gender Views in Marvel Superhero Movies
東條 加奈	Why Hemingway Wrote <i>For Whom the Bell Tolls</i>
福永 陽加里	The Distance between the Real LGBT Community and the LGBT Community Depicted in Popular Culture's Works: A Comparison between Japan and the US
宮久保 侑花	Daily Life Differences between America and Japan through Pixar and Ghibli Films
村川 理恋	American Fast-Food Dream
<b>《比較文化演習》（指導教員：小林 朋子）</b>	
前田 友希	美しさに囚われた少女の悲劇 — 『青い眼がほしい』からみる1970年代アメリカのホワイトネス—
今井 杏	性の多様性に関する絵本に描かれたメッセージ — 「ちがいを」を知り、認め合うために—
松田 佳子	H.D.ソロー『ウォールデン』研究 — 経済と鉄道に着目して—
池田 愛怜	多様性の在り方を追求する — 善悪二元論を越えて—
川村 明日香	ISから見るジェンダー — 孤立している男でも女でもない性—
佐多 茉生莉	女性アイドルの偉大さについて — アイドル（偶像）とは何か—
杉野 紗季	カウンター・カルチャーから見る人生観 — アレン・ギンズバーグ、ジャック・ケルアックを中心に—
水流 帆香	『白鯨』と『バケモノの子』における葛藤の軌跡 — イシュメールと蓮の成長を読み解く—
中釜 優花	戦闘少女アニメーションからみるジェンダー観の変容 — 1960年代から現代まで—
濱田 沙耶	アメリカ・インディアンの歴史と歴史学
<b>《英語学演習》（指導教員：遠峯 伸一郎）</b>	
出口 理穂	『赤毛組合』における挿入詞と談話標識について
濱田 真帆	『崖の上のポニョ』における英語の代名詞と擬人化の相関
<b>《英語学演習》（指導教員：石井 英里子）</b>	
今井 凜	Influence of Interpersonal Relationships on English Learning Motivation during Study Abroad
上 蘭 寧々	A Study on Language Teacher Cognition of Teaching Material and Lesson Planning
松岡 志帆	Teachers' Approach to Encouraging Student Participation in Online EFL Classes
梅本 鈴菜	Japanese Secondary EFL Teachers' Awareness on Teaching English through English
白石 香央里	Is It Effective to Use Phonics as an English Teaching Method?
大工園 萌里	A Relationship between Self-esteem and Resistance to Speaking English
西村 紗詠香	Japanese High School Students' Image of Multiculturalism
西森 珠音	Students' Perception of Peer Feedback in Japanese EFL Classrooms
肥後 美月	What are the Effects of Interjections during Conversation?
領木 奈央	Advantages and Disadvantages of Using ICT in Japanese Secondary EFL Classrooms